設計図書・仕様書等に対する質問・回答書

令和８年11月13日

入札参加業者 様

三　次　市 長
（ 財　政　課 ）

案 件 番 号 ：案件122
入札案件名 ：（三次市立十日市小・中学校改築工事　建築主体工事）

	質 問 事 項	回 答
1	(構造) (S-01-04) 柱帯筋がＨ形と溶接閉鎖型になっています。一般部外周が溶接閉鎖型、仕口部及び中子筋がＨ形と考えて宜しいでしょうか。	高強度せん断補強筋においては溶接閉鎖型、Ｄ 筋においてはＨ形を正とします。
2	(S-03-06) ３階G112Aの中子筋は２本と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

3	(S-03-06) 2階G114のﾘｽﾄが2つあります。右側のG114は該当無しと考えて宜しいでしょうか。	図面の誤記であり、お見込みのとおりです。
4	(S-03-08) 2階G124の中子筋は3本と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
5	(S-03-20) 2階G13の中子筋は4本と考えて宜しいでしょうか。	中子筋は1本とし、あばら筋・中子筋合わせて、3本としてください。
6	(S-4-05) 2～3FL間の階段踊り場の主筋方向の上端筋がB断面図ではD13@100、C断面図ではD16@100です。D16@100を正と考えて宜しいでしょうか。	D16@100を正とします。
7	(S-4-02) 屋外階段 南東の段押え筋は1-D13と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
8	(S-4-05) 屋外階段 北西の2FL～RFLの段押え筋は1-D13と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

9	(S-2-03.S-4-08D.A-15-16) 屋内階段 階段 3 の 2FL ﾚﾍﾞﾙのｽﾗﾌﾞの配筋を御指示下さい。 又、2FL ﾚﾍﾞﾙに階段詳細図では小梁がありますが、2 階伏図にはありません。小梁なしと考えて宜しいでしょうか。	S103A です。 小梁を設け、B101 を見込んでください。
10	(S-2-15.S-03-07) 南棟 X11 通り軸組図で 2 階 Y6-Y8 間に大梁 G116C がありますが、南棟大梁ﾘｽﾄにありません。断面寸法・配筋を御指示下さい。	G116 を見込んでください。
11	(S-2-03.S-03-07) 南棟 X23 通り軸組図で 2 階.3 階 Y4-Y5 間に大梁 G120D がありますが、南棟大梁ﾘｽﾄにありません。断面寸法・配筋を御指示下さい。	G120B を見込んでください。
12	(S-3-25) ｽﾗﾌﾞﾘｽﾄで DC は土間ｺﾝｸﾘｰﾄになっていますが、土間ｺﾝｸﾘｰﾄの仕様は FC18,S15 と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

13	(S-04-11.A-20-05) 設備基礎の配筋が構造図と意匠図にありますが、構造図正と考えて宜しいでしょうか。	構造図を正としてください。
14	(S-2-13～33) 基礎梁下の地業は捨ｺﾝ t50+砕石 t60 と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
15	(A12-08.S-2-02) X18-X20,Y5-Y6 間のｱｰﾄｷﾞｬﾗﾘｰ部分のｽﾗﾌﾞが 1 階伏図にありません。DCS101 と考えて宜しいでしょうか。	北棟と同様の DC を見込んでください。
16	(A-03-06) 内部土間下に断熱材 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ3種bA 厚さ 50㎜を見込んで宜しいでしょうか。	ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板１号　厚さ 50mm としてください。
17	(S-01-19) 人通孔・通水管・通気管の径・位置・箇所・補強要領を御指示下さい。	位置は A-20-08～11 を参照ください。 人通孔は既製品補強とし、通水管、通気管補強は“く”の字加工した D13 を 2 本 1 組でダイヤ型に配筋し、貫通穴 1 つにつき 2 組の補強を見込んでください。

18	(S-02-07) 北棟基礎伏図 X1 外側 Y10～Y12 間の礎版符号がありません。埋戻しと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
19	(S-02-09～11.S-03-23) 北棟 2～4 階伏図 X8-800 通り Y10～Y12 間で、小梁符号 B5 がありますが、小梁断面ﾘｽﾄにありません。断面、配筋はＢ４に倣って宜しいでしょうか。	B4 を正とします。
20	(S-02-09～11) 北棟 2～4 階伏図で、特記なきｽﾗﾌﾞ符号は S1 と考えて宜しいでしょうか。	「屋内階段 1」においては S3C、「屋外階段北西」の 3、4 階においては S-04-04、2 階においては板厚 250mm のうえ配筋仕様は S3C と同様で見込んでください。
21	(S-02-12) 北棟屋根伏図で、特記なきｽﾗﾌﾞ符号は S3 と考えて宜しいでしょうか。	「屋内階段 1」においては S3C、「屋外階段北西」においては S-04-04 を見込んでください。
22	(S-02-12) 北棟屋根伏図で、X8-800 通り Y10～Y12 間の小梁符号は B4 と考えて宜しいでしょうか。	RF X8-800/Y10～Y12 間は G18 を見込んでください。

23	(S-02-09～11.S-02-24) 北棟 2～4 階伏図で、8-800 通り Y10～Y12 間は小梁符号 B5、X2 通り軸組図では B4 となっています。B4 を正と考えて宜しいでしょうか。	B4 を正とします。
24	(S-02-12.S-02-31.S-3-19) 北棟屋根伏図で、Y13 通り X14～X16 間の梁符号が G4A、Y１３通り軸組図では G4 となっています。G4 を正と考えて宜しいでしょうか。G4A が正の場合は R 階 G4A の断面・配筋を御指示下さい。	G4 を正とします。
25	(S-02-08～09.S-02-24) X2,4,6 通り軸組図で、1 階 Y13～Y15 間梁符号が FG12 とありますが、1 階伏図では FG11 となっています。FG12 を正と考えて宜しいでしょうか。	FG11 を正とします。
26	(S-02-08.S-02-26.S-02-29) 北棟基礎伏図で、交点(X11,Y10)、(X22,Y15)の基礎符号が F63 とありますが、軸組図では F63A となっています。F63A を正と考えて宜しいでしょうか。F63 が正の場合は断面・配筋を御指示下さい。	交点(X11、Y10)は F63A を正とします。 (X22、Y14)は F63B を正とします。

27	(S-02-09.S-02-25) X5 通り軸組図で、２階 Y10～Y11-1650 間の梁符号が G15 とありますが、２階伏図では G15A となっています。G15A を正と考えて宜しいでしょうか。	G15A を正とします。
28	(S-02-12.S-02-26) X9 通り軸組図で、R 階 Y13～Y15 間の梁符号が B3 とありますが、R 階伏図では B1 となっています。B1 を正と考えて宜しいでしょうか。	B3 を正とします。
29	(S-02-08～12.S-02-26) X15 通り軸組図で、2～R 階 Y10～Y12 間の梁符号が G23 とありますが、伏図では G25 となっています。G25 を正と考えて宜しいでしょうか。	G25 を正とします。
30	(S-02-08～12.S-02-26) X15 通り軸組図で、Y14～Y16 間の梁符号が以下のように相違します。すべて伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 ① ２階：軸組図 G25、伏図 G25A ② ３~4 階：軸組図 G25A、伏図 G25	伏図を正とします。

	(S-02-08～12.S-02-26.S-02-33)	
31	X15 軸組図で、Y16 通りの柱符号が C1 とありますが、Y16 通り軸組図、各階伏図では C1A となっています。C1A を正と考えて宜しいでしょうか。	C1A を正とします。
	(S-02-07.S-02-28)	
32	X18 軸組図で、1 階の Y12 通りに C11 の明記がありますが、柱型はありません。C11 は無しと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
	(S-02-09～12.S-02-28)	
33	X18 通り軸組図で、2 階 Y10～Y13 間、3～R 階 Y11～Y13 間の柱符号が G26 とありますが、各階伏図では G28 となっています。G28 を正と考えて宜しいでしょうか。	G28 を正とします。
	(S-02-12.S-02-29)	
34	X23 軸組図で、R 階 Y14～Y16 間の梁符号が B3 とありますが、屋根伏図では B1 となっています。B1 を正と考えて宜しいでしょうか。	B3 を正とします。

35	(S-02-08.S-02-29) X24 軸組図で、1 階 Y13～Y14 間の梁符号が FG11 とありますが、伏図では FG11A となっています。FG11A を正と考えて宜しいでしょうか。	FG11A を正とします。
36	(S-02-09.S-02-11.S-02-31) Y12 軸組図で、2 階と 4 階 Y1～Y3 間の梁符号が G3 とありますが、伏図では G3A となっています。G3A を正と考えて宜しいでしょうか。	G3A を正とします。
37	(S-02-08.S-02-31) Y12 軸組図で、1 階 X20～X22 間の梁符号が FG1 とありますが、伏図では FB2 となっています。FB2 を正と考えて宜しいでしょうか。	FB2 を正とします。
38	(S-02-09～10.S-02-31) Y13 軸組図で、X1～X2 間の梁符号が以下のように相違します。すべて伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 ① 2 階：軸組図 G4、伏図 G4B ③ 3 階：軸組図 G4B、伏図 G4 3 階 G4B が正の場合は断面・配筋を御指示下さい。	伏図を正とします。

39	(S-02-09.S-02-32) Y14 軸組図で、2 階 X22～X24 間の梁符号が G5 とありますが、伏図では G5A となっています。G5A を正と考えて宜しいでしょうか。	G5A を正とします。
40	(S-02-09.S-02-32) Y15 軸組図で、2 階 X6～X7 間の梁符号が G6A とありますが、伏図では G6 となっています。G6 を正と考えて宜しいでしょうか。	G6 を正とします。
41	(S-02-07) 基礎ﾌｰﾁﾝｸﾞ下端増打の補強要領は、D13@200 がｺﾞ組と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
42	(S-02-07) 基礎ﾌｰﾁﾝｸﾞ側面増打は配筋不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
43	(S-02-08.S-02-25) 1 階の X7 通り/Y13～15 間の壁符号が伏図では EW40 ですが、軸組図では EW40A と相違しております。 EW40A を正と考えて宜しいでしょうか。	EW40 を正とします。

44	(A-08-01～05.S-02-07～12.S-02-25～29) Y11～12 及び Y14～15 間の通り芯寸法について、 伏図・軸組図では 4600 ですが、平面図では 4500 と相違しております。 4500 を正と考えて宜しいでしょうか。	4500 を正とします。
45	(A-12-01.S-02-08) 平面詳細図、屋内階段 1 の X8 通り側は RC 壁ですが、 1 階伏図には記載が無く相違しております。 平面詳細図を正とし、W15(構造ｽﾘｯﾄ無し)と考えて宜しいでしょうか。	平面詳細図を正とします。 W15、構造スリット無しを見込んでください。
46	(S-03-12.S-3-25) 壁ﾘｽﾄの EW30A 以外は斜め開口補強筋の記載が御座いません。不要と考えて宜しいでしょうか。 必要な場合、径･本数を御指示下さい。	お見込みのとおりです。
47	(S-4-08) 階段中壁端部補強 D22 の継手は重ね継手と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

48	(S-4-08) 階段中壁厚 250 の縦筋が断面図左では D13@200 ですが、断面図右では D16@200 と相違しております。D16@200 を正と考えて宜しいでしょうか。	D13@200 を正とします。
49	(S-4-08) 左断面図において、縦筋補強 D13～D19 の記載が御座いますが、ﾀﾞﾌﾞﾙ配筋と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
50	(S-01-04) 構造特記仕様書(2)-5.鉄筋工事-②において、 外壁開口ひびわれ防止筋(φ6-100×100)適用となっておりますが、ｻｲｽﾞ・ｼﾝｸﾞﾙまたはﾀﾞﾌﾞﾙなどの詳細が不明です。御指示下さい。	外壁開口ひびわれ防止筋のメッシュ筋は適用ありません。
51	(A12-17.S-02-11) 3 階 Y10 通/X13～15 間の RC 壁ﾚｲｱｳﾄについて、平面詳細図と伏図で相違しております。伏図を正と考えて宜しいでしょうか。	RC 壁とするのは外部側のみで、形状は伏図を正とします。

52	(A12-22.S-02-10～11.S-02-30) 平面詳細図 3 階～4 階の Y11 通り、X24 外側に袖壁がありますが、伏図及び軸組図に無く相違しております。 不要と考えて宜しいでしょうか。 必要な場合、壁符号･耐震ｽﾘｯﾄの有無を御指示下さい。	必要です。 平面図を正とし、W15、構造スリット無しとし見込んでください。
53	(S-04-12.S-04-16) 基礎・1 階伏図で梁天端ﾚﾍﾞﾙは 1FL-250 ですが、A 通り軸組図及び基礎梁断面ﾘｽﾄより FG202 天端ﾚﾍﾞﾙは 1FL+350 と考えて宜しいでしょうか。	GL+300 を梁天端としてください。
54	(AL-00.S-04-12) 上記質疑に関連して、意匠図で基礎梁天端ﾚﾍﾞﾙが土間に沿って GL-150～GL+450 になっており、基礎梁成も一定ですが、構造図を正と考えて宜しいでしょうか。	GL-300～GL+300 において勾配に沿った傾斜梁としてください。
55	(S-02-07～08) 南棟 1 階伏図で、ﾋﾟｯﾄ中間にある FB102 は、底型枠あり、地業無しと考えて宜しいでしょうか。 ・X8 通り Y2-Y5 ・X17 通り Y5-Y6	お見込みのとおりです。

	(S-02-07～08)	
56	北棟1階伏図で、ﾋﾟｯﾄ中間にあるFB1は、底型枠あり、地業無しと考えて宜しいでしょうか。 ・X3通り Y13-Y15 ・X5通り Y13-Y15 ・X19通り Y11-Y13	お見込みのとおりです。
	(外部) (A-15-07.参考数量書46)	
57	屋外階段中壁の壁仕上が不明です。参考数量書の階段壁天端 ｺﾝｸﾘｰﾄ直均仕上が撥水剤下地とあることから、外壁-RC：撥水剤+化粧打放と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
	(A-05-01)	
58	外部仕上表の軒天-RC について、撥水剤 ｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞとありますが、外壁-RCの凡例のように化粧打放の記載がありません。軒天-RCにも化粧打放が必要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。

59	(A-06-01.A-13-01) 庇の軒天について、標準詳細図(矩計図)では軒天-RC 白：NAD 塗装、断面詳細図では軒天-RC：撥水剤とくい違います。軒天-RC 白を正と考えて宜しいでしょうか。	A-06-01 の軒天-RC 白を正とします。
60	(A-15-05) 階段詳細図に屋上手すりとありますが、該当の場所が不明です。御指示下さい。	A-09-01 の北棟で避難場所および鳩小屋を囲うように曲線で示す部分が、屋上手すりの設置個所です。
61	(内部) (A-05-02.16-07) 保険洗面・保険 WC・保険脱衣の巾木について、仕上表(2)ではｱﾙﾐ巾木、水まわり詳細図 07 では長尺巻き上げとくい違います。水まわり詳細図 07 を正とし、長尺巻き上げと考えて宜しいでしょうか。	A-16-07 を正とします。
62	(A-05-02) 仕上上(2)において、休憩室 1・2 巾木欄にｱﾙﾐ巾木の記載がありますが、床仕上が畳の為、畳寄せに読み替えて宜しいでしょうか。	畳寄せで見込んでいただいて構いません。施工にあたり図面の変更が生じる場合は、協議の上で決定してください。

63	(A-06-04.12-05.12-07) 休憩室及び和室 畳のｻｲｽﾞについて、平面詳細図で一畳ｻｲｽﾞの記載となっておりますが、標準詳細図で琉球畳と記載の為、半畳ｻｲｽﾞと考えて宜しいでしょうか。	半畳サイズで見込んでいただいて構いません。
64	(A-12-07.19-14) 平面詳細図 07 において、水屋 FL+400 部分に踏板の記載がありますが、仕様を御指示下さい。また、展開図 14 で該当範囲が床面より浮いた様な記載となっております。取り付け下地も併せて御指示下さい。	標準詳細図の床-畳/ユニットを参照ください。
65	(A-12-07) 平面詳細図 07 において、和室に炉の記載がありますが、工事区分は建築工事範囲外と考えて宜しいでしょうか。また、建築工事にて対応が必要な場合、詳細を御指示下さい。	炉は備品購入を予定しており、本工事には含まれません。炉の設置を想定したしつらえ等、建築で対応が必要となる場合は着手後協議の上決定します。

66	(A-12-07) 平面詳細図 07 において、和室に押入の記載がありますが、内部仕上が不明です。床材を縁甲板とし、壁及び天井仕上は和室に倣って宜しいでしょうか。また、中段・枕棚は必要ないのでしょうか。必要な場合、詳細を併せて御指示下さい。	お見込みのとおりです。 中段 1 段を設けてください。
67	(A-05-02.15-15) 仕上表(2)において、消火ﾎﾟﾝﾌﾟ室 壁欄に EP/LGS/防音の記載がありますが、階段詳細図 11 で該当範囲が見当たりません。不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
68	(A-05-02.15-15) 仕上表(2)において、消火ﾎﾟﾝﾌﾟ室 天井欄に GW の記載がありますが、階段詳細図 11 で記載がありません。ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し A 種+ふかしｺﾝｸﾘｰﾄ 10mm に読み替えて宜しいでしょうか。	仕上表の通り見込んでください。
69	(A-06-04) 標準詳細図(内部 1)において、床-沓拭ﾏｯﾄに排水管の記載がありますが、排水経路が不明です。設置する部屋毎の排水経路を御指示下さい。	AL-06 雨水排水平面図の桝 42、43 に合流するものとしてください。

70	(A-05-02.19-10) 職員室 乾式間仕切面の壁仕上について、仕上表(2)ではEP、展開図 10 では OSB とくい違います。仕上表(2)を正とし、EP と考えて宜しいでしょうか。	平面詳細図、展開図を正とします。
71	(A-05-02.06-02) 仕上表(2)において、倉庫 1･2 天井欄に GW の記載がありますが、標準詳細図(矩計図 2)で倉庫 1 の CH2100 部に張天井の記載があります。天井仕上は岩綿吸音板に読み替えて宜しいでしょうか。また、天井鉄骨下地は倉庫 2 にも必要と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	岩綿吸音板を見込んでいただいて構いません。 鉄骨下地は倉庫 2 にも必要です。
72	(A-05-02.19-16) 倉庫 2 乾式間仕切面の壁仕上について、仕上表(2)ではEP、展開図 16 では OSB とくい違います。仕上表(2)を正とし、EP と考えて宜しいでしょうか。	A-19-16 展開図 16 を正とします。
73	(A-05-02.15-16) 仕上表(2)において、倉庫 3 壁欄に EP/LGS/の記載がありますが、階段詳細図 12 で該当範囲が見当たりません。不要と考えて宜しいでしょうか。	倉庫 3 の X14 通り側の壁が該当します。

74	(A-05-02.15-16) 仕上表(2)において、倉庫 3 天井欄に GW の記載がありますが、階段詳細図 12 で記載がありません。ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しＡ種+ふかしｺﾝｸﾘｰﾄ 10mm に読み替えて宜しいでしょうか。	GW を見込んでください。
75	(A-12-12.15-14) 平面詳細図 12 において、小ﾌﾟﾚｾﾞﾝ 1 に小階段の記載がありますが、詳細は階段詳細図 10 に記載の小ﾌﾟﾚｾﾞﾝ 2 に倣って宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
76	(A-18-05) 建具詳細図 05 において、ｼｬｯﾀｰﾎﾞｯｸｽ受金物 C-100×50×1.6 の記載がありますが、工事区分は鉄骨工事と考え、参考数量書 付帯鉄骨等に含まれているものと考えて宜しいでしょうか。また、建築工事にて対応が必要な場合、施工場所を御指示下さい。	お見込みのとおりです。

77	(A-12-15.15-14) 図書ﾒﾃﾞｨｱ ｽﾛｰﾌﾟ床仕上について、平面詳細図 15 では長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ、階段詳細図 10 ではﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄとくい違います。階段詳細図 10 を正とし、ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄと考えて宜しいでしょうか。	A-15-14 階段詳細図 10 を正とします。
78	(A-20-08) 雑詳詳細図(8)において、ﾏﾝﾎｰﾙの記載がありますが、仕様が不明です。鋳鉄製と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
79	(A-20-12) 雑詳詳細図(12)において、雨水ﾀﾝｸの記載がありますが、設置場所が不明です。北棟に 1 か所設置と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
80	(建具) (参考数量書.A-17-1) AW1-6d の区分について、参考数量書では南棟ですが 1 階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝでは北棟とくい違います。北棟を正と考えて宜しいでしょうか。	A-17-1 を正とします。

81	(参考数量書.A-17-1.5) AW1-6c の員数について、建具ｷｰﾌﾟﾗﾝでは 4 ヶ所ですが参考数量書では 1 ヶ所とくい違います。建具ｷｰﾌﾟﾗﾝの 4 ヶ所を正と考えて宜しいでしょうか。	A-17-1 を正とします。
82	(参考数量書.A-17-1) SD1-2 の区分について、参考数量書では北棟ですが 1 階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝでは南棟とくい違います。南棟を正と考えて宜しいでしょうか。	A-17-1 を正とします。
83	(A-17-1) WD1-25d が建具ｷｰﾌﾟﾗﾝにありますが、建具表と参考数量書に記載がありません。WD1-25a に読替えると考えて宜しいでしょうか。(WD1-25a は計 2 ヶ所になります)	A-17-11 建具表 07 の WD1-25 の数量を 5 つとし、1-25d: W3030、1-25d のみ下部ポリカとしてください。
84	(参考数量書.A-17-2～4.12) WD2-31 の員数について、建具ｷｰﾌﾟﾗﾝでは 3 ヶ所ですが参考数量書では 1 ヶ所とくい違います。建具ｷｰﾌﾟﾗﾝの 3 ヶ所を正と考えて宜しいでしょうか。	A-17-2～4 建具キープランを正とします。

	(参考数量書) 85 参考数量書に SWiSD2-1 がありますが、意匠図に記載がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。 必要な場合、該当箇所を御指示ください。	お見込みのとおりです。
	(参考数量書.A-17-1.11) 86 WD1-28 の員数について、建具ｷｰﾌﾟﾗﾝでは 1 ヶ所ですが参考数量書では 2 ヶ所とくい違います。建具ｷｰﾌﾟﾗﾝの 1 ヶ所を正と考えて宜しいでしょうか。	A-17-1 を正とします。
	(A-17-9) 87 SWi1-4b の姿図について、W=3480 と記載がありますが姿図では欠けのある FIX 窓です。W=3480 を正とし、欠けの無い FIX 窓と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
	(参考数量書.A-17-10) 88 LSD2-3a～3f の W 寸法について、参考数量書では全て W7740 ですが建具表では W840、W4165 等の記載がありくい違います。参考数量書を正と考えて宜しいでしょうか。 また、ｶﾞﾗｽ仕様が不明ですが建具に含まれるのでしょうか。含まれない場合、ｶﾞﾗｽ仕様を御指示ください。	記載の寸法は上部欄間部の W となります。 建具表を正としてください。 上部欄間は強化ガラス t 5 となります。

89	(A-17-12) WD3-1 のｶﾞﾗｽ欄に下部ﾎﾟﾘｶの記載がありますが、姿図には下部ﾎﾟﾘｶの図示がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
90	(A-17-12) WD2-13 に下部ﾎﾟﾘｶ 8mm を見込むと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
91	(参考数量書.A-17-7) AWR-1 の W 寸法について、建具表では W3240 ですが参考数量書では W4000 とくい違います。建具表の W3240 を正と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正としてください。
92	(参考数量書.A-17-7) AD1-3 の W 寸法について、建具表では W27650 ですが参考数量書では W27240 とくい違います。建具表の W27650 を正と考えて宜しいでしょうか。	（AD1-2 に対する質疑として回答します。） 建具表を正としてください。

93	(参考数量書.A-17-5) AW1-19 の W 寸法について、建具表では W6730 ですが参考数量書では W6880 とくい違います。建具表の W6730 を正と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正としてください。
94	(参考数量書.A-17-9) SWi1-3 の W 寸法について、建具表では W5440 ですが参考数量書では W5456 とくい違います。建具表の W5440 を正と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正としてください。
95	(参考数量書.A-17-11) WD2-3a.3b の H 寸法について、建具表では W2600 ですが参考数量書では W2700 とくい違います。建具表の W2600 を正と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正としてください。
96	(参考数量書.A-17-11) WD2-7 の H 寸法について、建具表では W1338 ですが参考数量書では W1356 とくい違います。建具表の W1338 を正と考えて宜しいでしょうか。	W1356 を正としてください。

	(参考数量書.A-17-2～4)	
97	WD2-31 の区分について、参考数量書では南棟ですが 2～4 階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝでは北棟とくい違います。北棟を正と考えて宜しいでしょうか。	A-17-2～4 建具キープランを正とします。
	(外構) (A-03-09)	
98	特記仕様書の 9 路面標示用塗料が適用されていますが、図面に白線・車いす駐車場ﾗｲﾝ・ﾏｰｸの図示が無い為詳細が不明です。該当無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合、該当範囲・詳細等を併せて御指示下さい。	該当ありません。
	(参考数量書)	
99	参考数量書の外構 構内舗装に犬走り 1 式とありますが、舗装構成・該当範囲が不明です。御指示下さい。	犬走りの構成は A-06-03 標準詳細図(外部)の外床-RC を参照ください。
	(参考内訳書.AL-06)	
100	雨水排水計画図に重圧管 250 i=250 4.50 とありますが、参考内訳書に無い為くい違います。参考内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	図面を正としてください。

101	(参考内訳書.A-01-03) 参考内訳書の外構 敷地造成に以下の項目がありますが、図面に該当範囲等の記載が無い為土工事計画が不明です。参考内訳書通り見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・掘削 土砂 775 ㎥ ・盛土 1432 ㎥ ・盛土(A 種) 山砂の類 575 ㎥ ・法面整形(切土) 40.6 ㎡ ・法面整形(盛土) 87.8 ㎡	参考数量書のとおり見込んでいただいて構いません。
102	(参考内訳書) 参考内訳書の外構 雨水排水設備(土工)について埋戻しＣとＤとありますが、使い分けが不明です。参考内訳書通り見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	最大埋戻し幅1m以上4m未満を埋戻しC、最大埋戻し幅1m未満を埋戻しDとして計上しています。

	(参考内訳書)	
103	参考内訳書の外構 園路広場整備(土工)について以下の項目がありますが、土工事計画が不明です。階段部分の土工事は除いた数量とし、参考内訳書通り見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・床堀 機械 77.3 ㎥ ・埋戻 D 40 ㎥	参考数量書のとおり見込んでいただいて構いません。
	(A-12-01.AL-11.28)	
104	門扉基礎について配筋要領が不明です。D13@200 ｼﾝｸﾞﾙｸﾛｽと考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
	(AL-31)	
105	手足洗い場の鉄筋について D10 とありますが、配筋要領が不明です。D10@200 ｼﾝｸﾞﾙｸﾛｽと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	手足洗い場は二次製品を想定しています。
	(参考内訳書.A12-06.AL-21)	
106	新校舎北棟・南棟 ﾕﾆｯﾄ及びその他 外部に RC ﾍﾞﾝﾁとありますが、詳細が不明です。ﾍﾞﾝﾁ構造図のﾍﾞﾝﾁA・B に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	校舎犬走に設けている RC ベンチは A-20-12 雑詳細図(１２）を参照ください。 外構に設けているベンチは AL-21 のベンチ A・B を参照ください。

107	(参考内訳書.A-12-01) 新校舎北棟 ﾕﾆｯﾄ及びその他 外部 保健室前の RC ﾍﾞﾝﾁの寸法について参考内訳書は 5850×450、平面詳細図は 5850×400 とくい違います。参考内訳書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-20-12 の RC ベンチを正とします。
108	(AL-28.29) 門扉基礎下についてｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ門扉 C と D に砕石の図示はありませんが、ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ門扉 A と B に倣い砕石を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
109	質疑回答で参考数量書と食い違いが生じた場合、あくまでも参考数量を正として単価を記載して入札する。後日設計変更して頂けると考えてよろしいでしょうか。	入札にあたっては、現場説明書に明記しているとおり、参考数量書は設計図書ではなく契約上の拘束力を持つものではありません。設計図書（図面、特記仕様書、現場説明書および質問回答書）に基づき、積算・見積りを行い入札してください。 なお、契約後に施工条件や現場状態が設計図書と一致しない事実が発見された場合や協議によって必要となった変更については、約款に基づき適切に対応します。